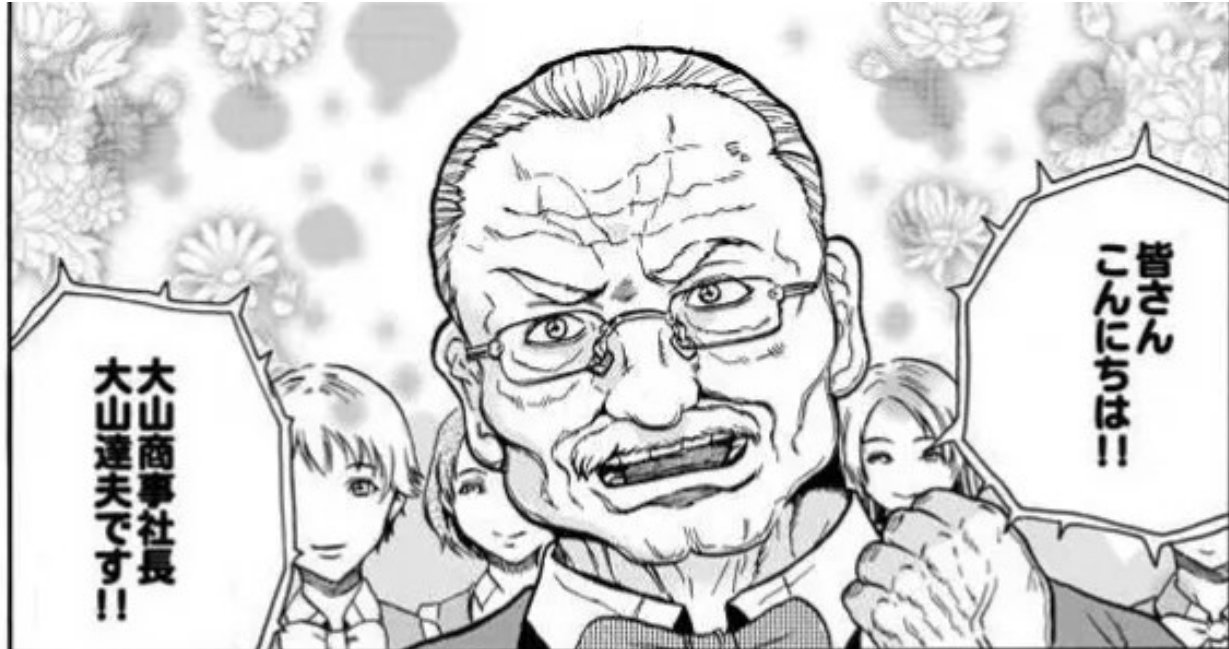






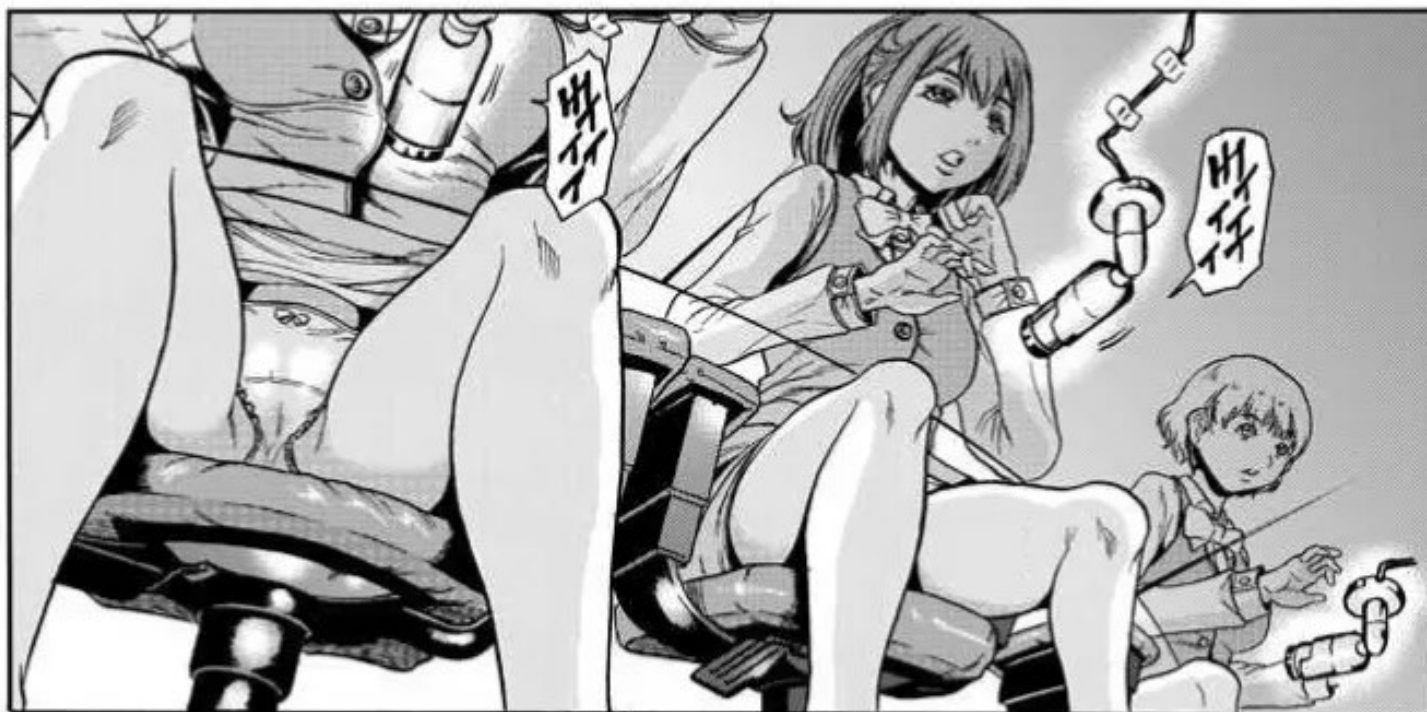
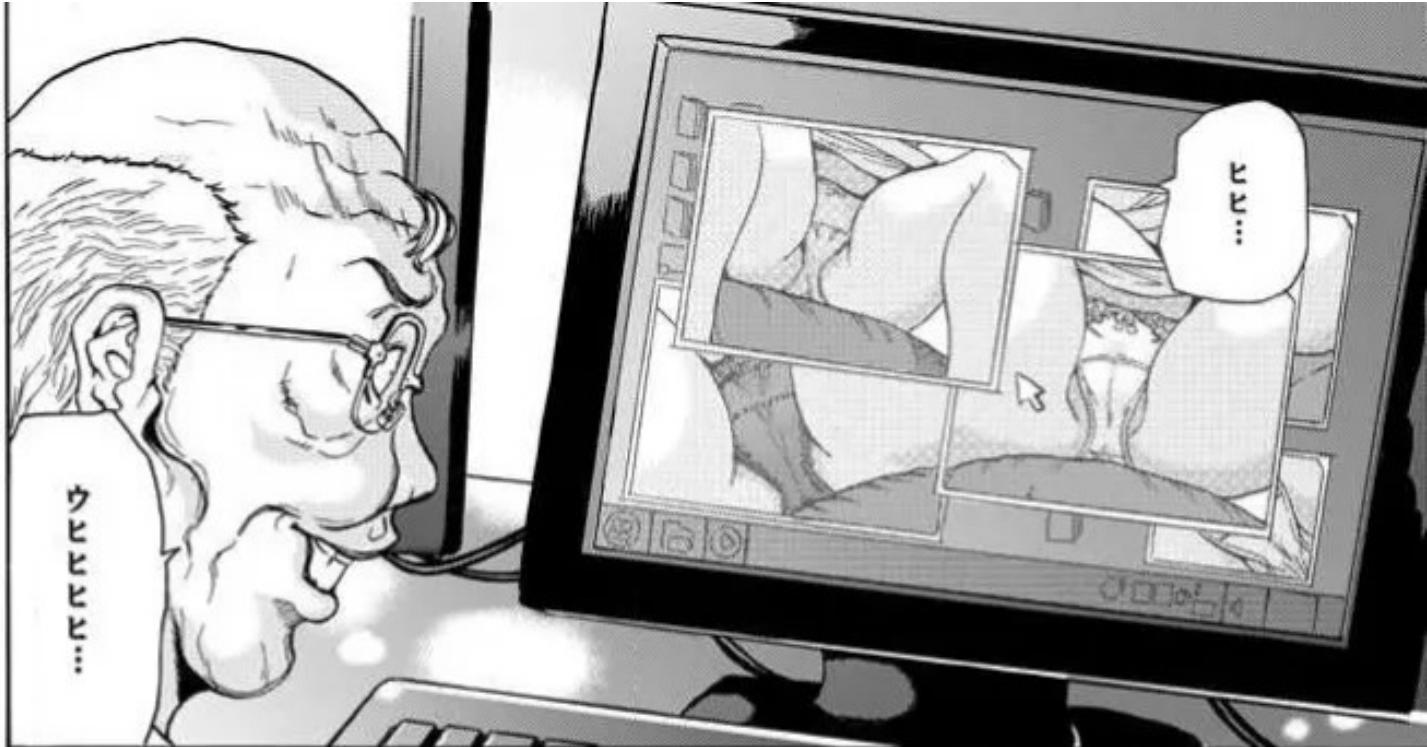


三日後—



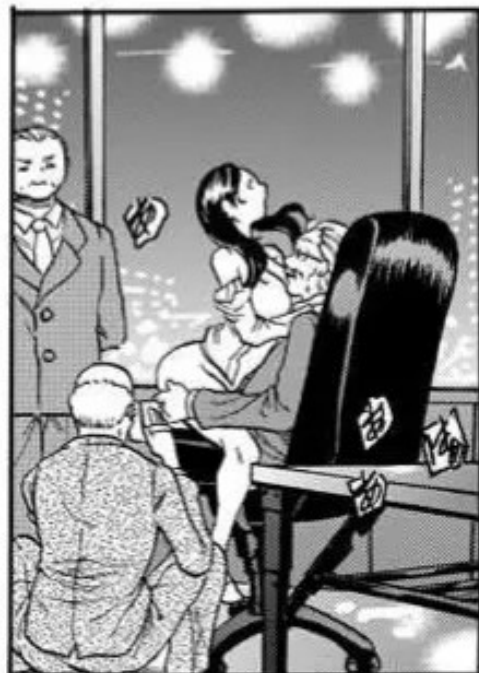




























アタシ
天城心愛

よろしくね
香苗ちゃん♥



あつれー？
もしかして
新人さん？

あつはい…
三嶋香苗です
よろしく
お願いします!!



…この会社は
ちよつと
変わっててね…

ここで
生き残りたいなら

会社に身を
捧げるか…

私達につくか…
しかないわよ？



会社に身を
捧げるか
天城さんに
つく…？

…ど
どういう意味
だろう…？



オイ待て
どこに行く!!

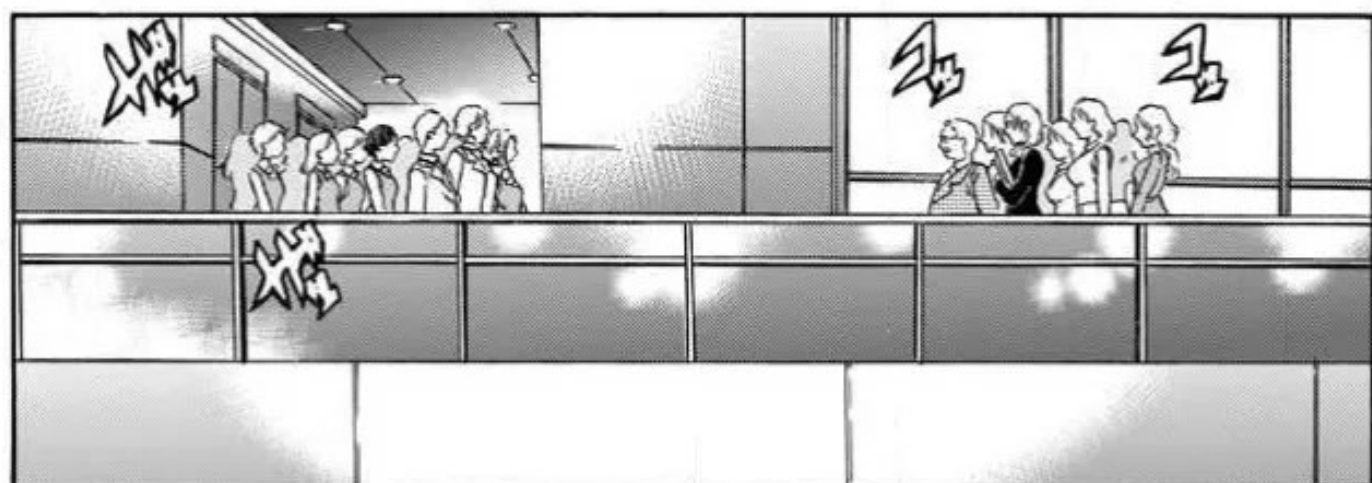
もうすぐ
お昼なんで
休憩です♥



…え…？
それって
どういう…

今にわかるわ♥
じゃあお仕事
がんばって!♥









よし終わった
流石私!!

昨日より早い!!
さあみる
課長!!



はあ...
何やってんだろ

バカな事
やってないで
早く帰ろう





三嶋君!!



後は明日
午前中に

この資料
専務のトコ
持ってけば
いいかー

こんな時間だし
もう帰って
そうだし
専務...



おっ
お疲れ様です

こんな時間まで
残業かい?
大変だね



...あ...

室内人事
部長...!!



でも体調管理は
きちんとね!!
それじゃ!!

はいっ
お疲れ様です!!



すごく頑張っ
ていると
聞いていた
からね

君を探った身と
しては
鼻が高いよ

ほ!本当ですか
ありがとうございます!!



室内部長は
カッコいいなあ

変な人が多いけど
室内部長は
まともだね...















失礼
します!!

資料を
届けに...



なんなの...

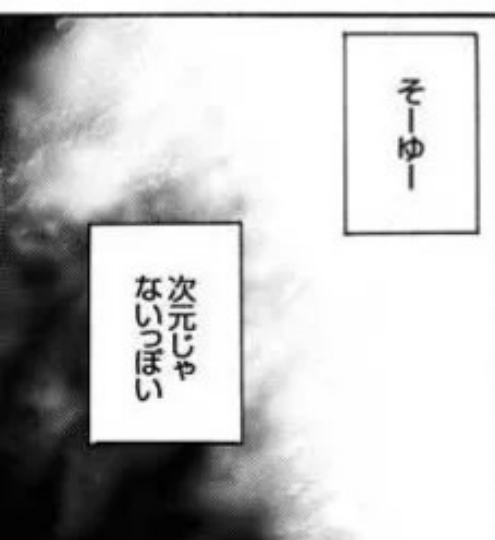
なんなのよ
一体...



フフ...
ごくらうさん
だったね

もう少しで
終わるから

...そこで見ながら
待っててくれる
なり?



そーゆー

次元じゃ
ないっほい



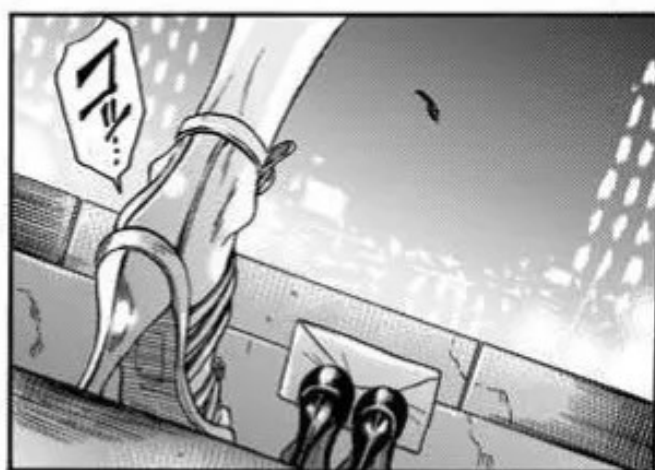
この会社
ちよつと

変だなとは
思ってたけど



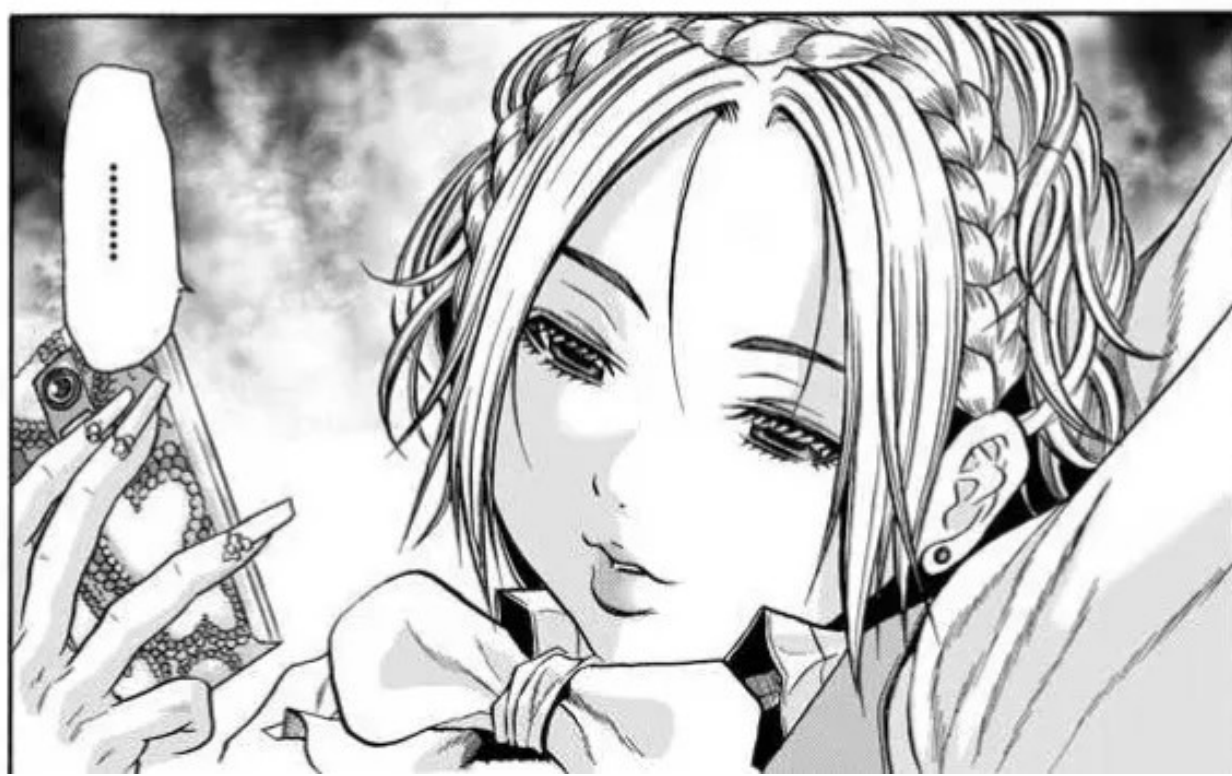
わかつちやった
事が

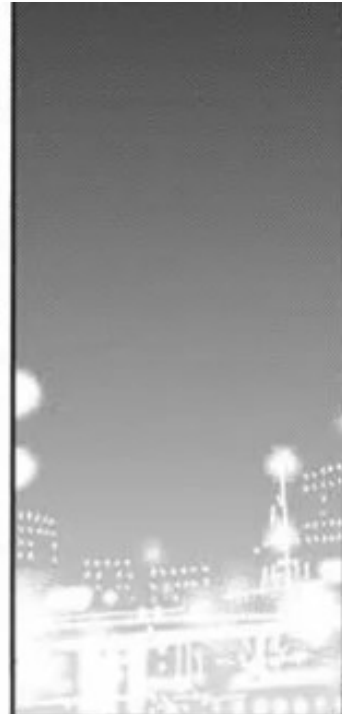
あります



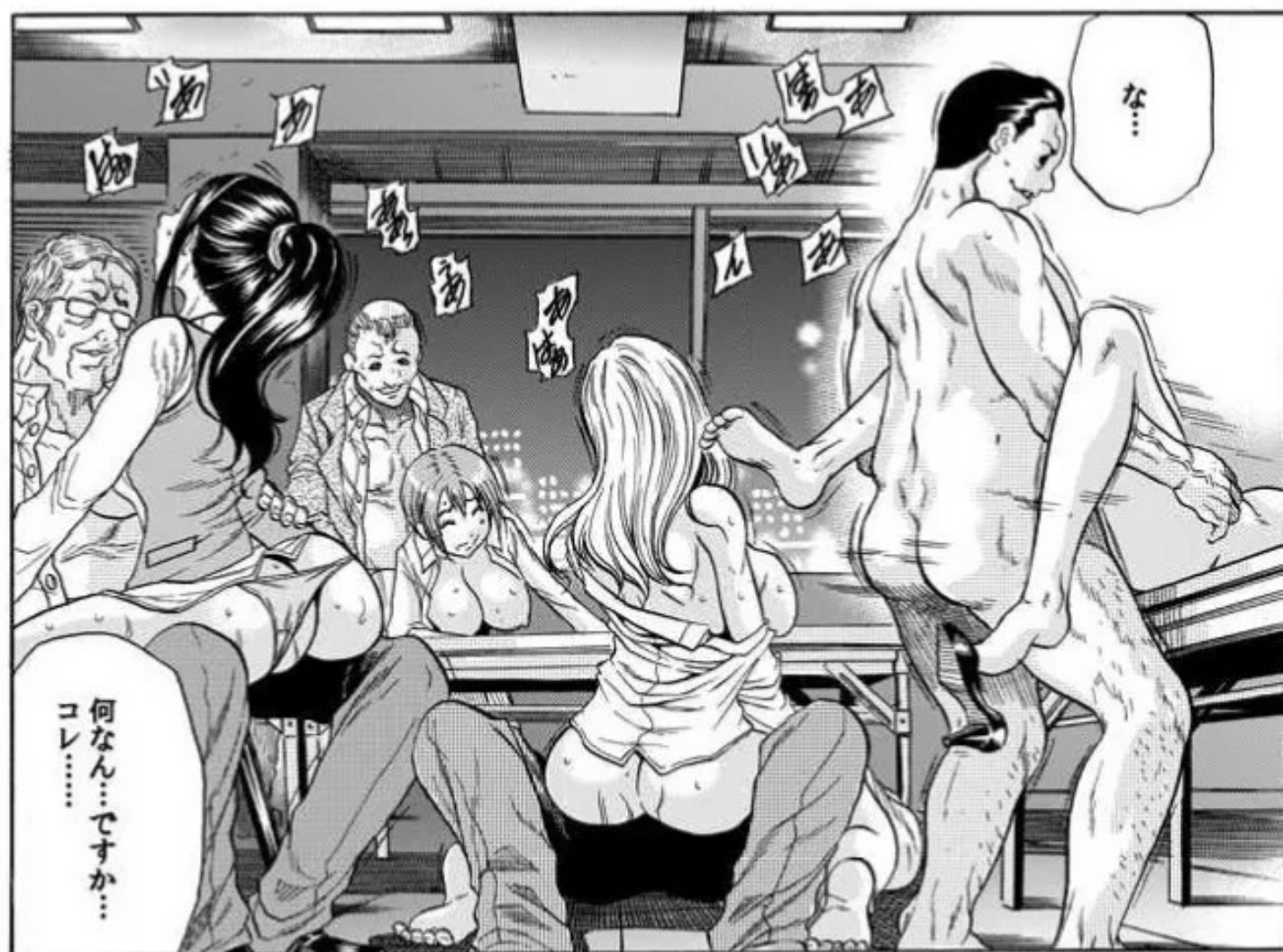










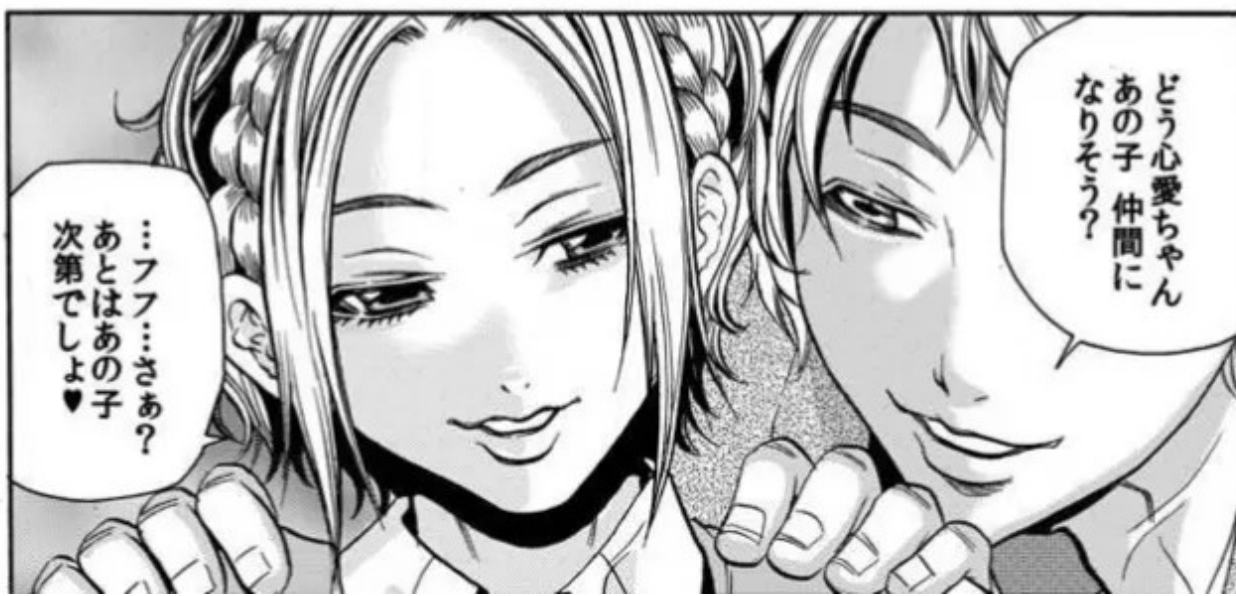
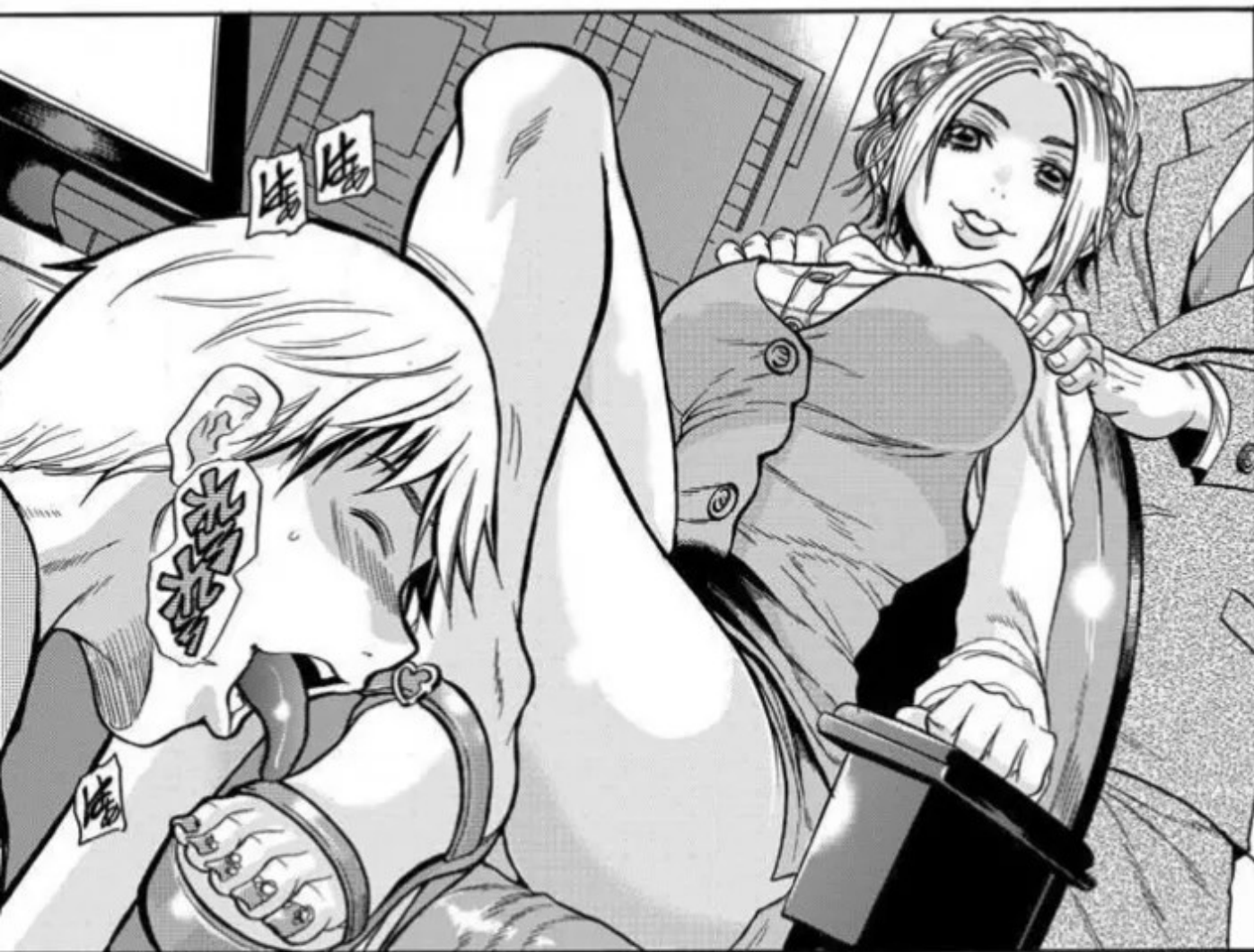


















気持ちいいです
最高です...ッ!



フフ…青田
あなたが
気持ちよくなって
どうするの？

アタシを
気持ちよく
しなさい？
わかってるの？

は…はいッ
でも心愛ちゃんの
ナカ良すぎて…ッ



一週間アタシに
お触り禁止に
しようかしら？

ああもう
全然ダメよ
青田

ひッ…そ…そんな
心愛ちゃん…
許して…ッ



アタシが
いうまで

イツちやったら
ダメよ？
許さないわ



はひ…ッ
でも…そ
そんな…

そんなに
締めつけられたら
僕はあッ!!











アタシのものに
ならないなら

いらないわ



まったく...

とんでもない事を
してかしおつて...



申し訳
ありません
でした!

以後このよう
な事はないよう
注意します!



必要だな...



…しっかりと
とした
教育が









……？



とはいえ
まあ……

ある理由で……

父子仲は
良好とは
いえませんが……



新人の
三嶋さんですよ

貴女の真面目な
仕事ぶりは
聞いてますよ

……えっ
本当ですか!?

ありがとうございます！
光栄です!!



……私はこの会社を
変えたいと
思っています

そのためには
もっと……

常識ある方に
力を貸して
もらいたい



……この
会社……

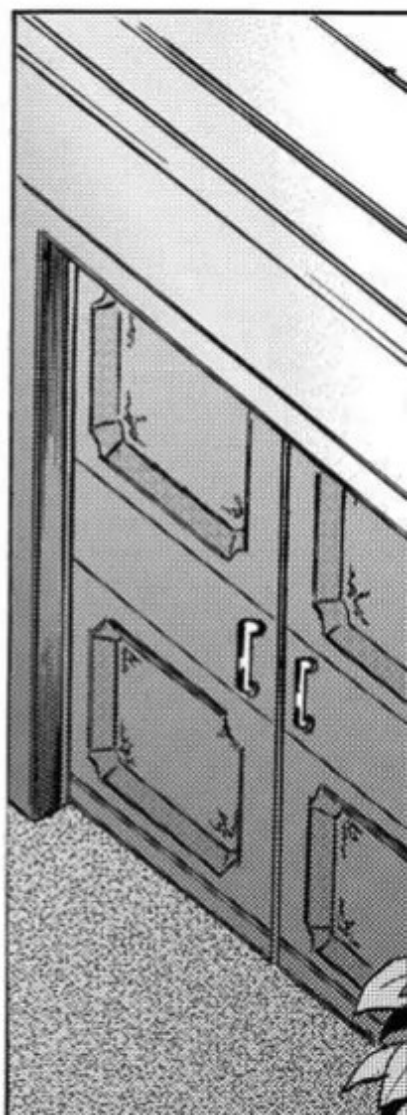
おかしいところ
だらけでしょう？



……えっ……
……は、はい……

……ま、まあ
普通じゃ……
ないですよ……

















入れるよ...
三嶋くん...

あ...
はい...専務

はやく...
ください...



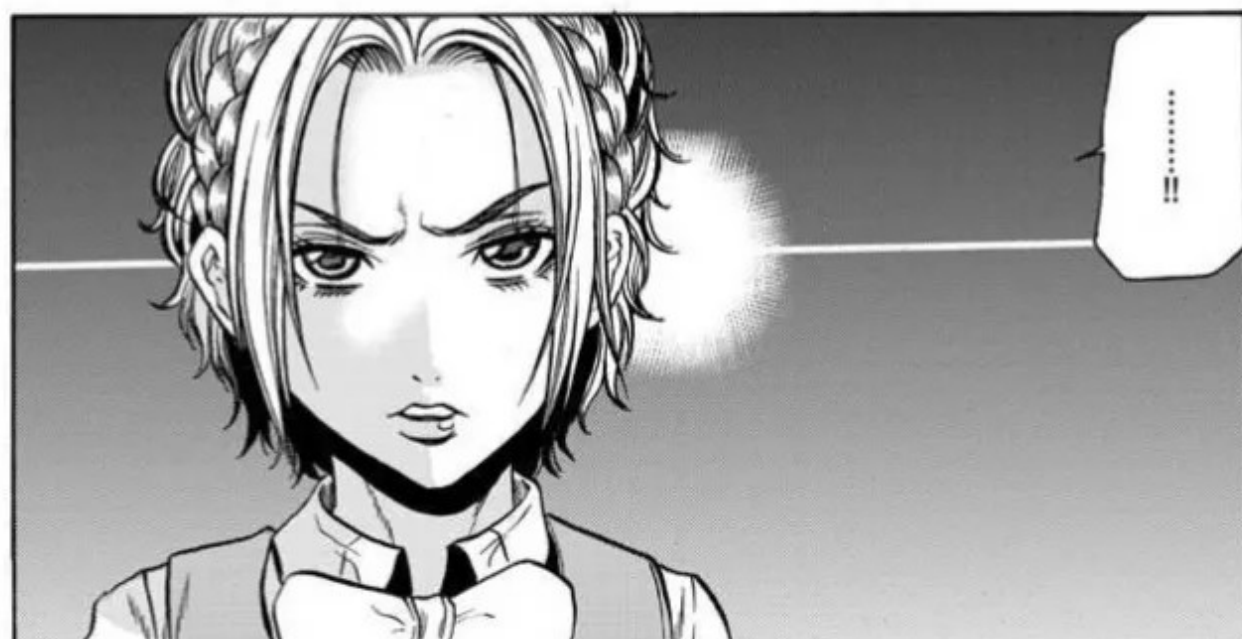


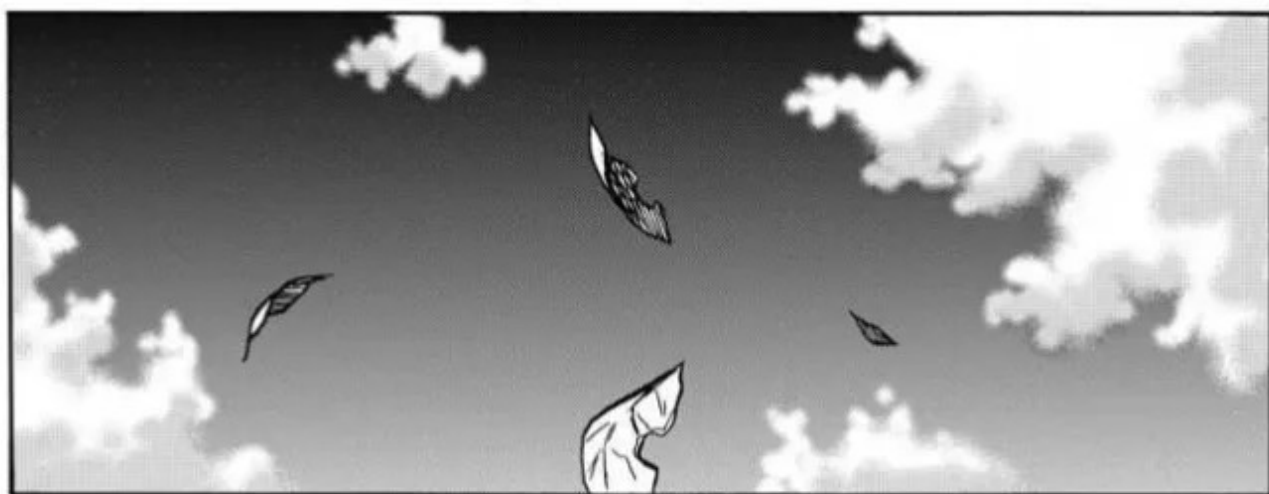














私
三嶋香苗

本日より
副社長専属の
秘書課に
転属です



コワイ目にも
あったけど



あんなものを
見たり



せっかく期待して
もらったんだし

自分のできる事
やってみよう…!!



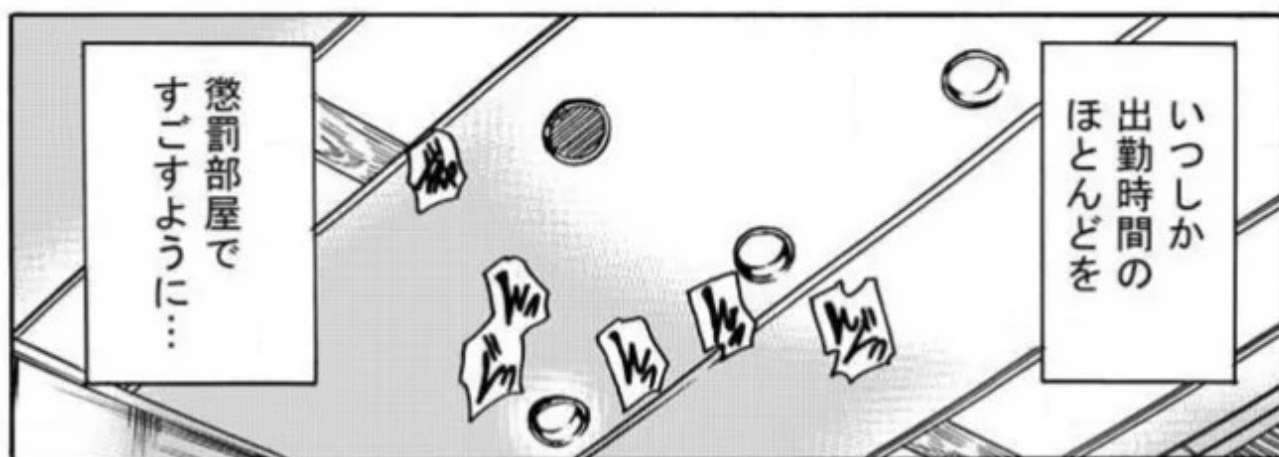
あの副社長の
下でなら

なにか頑張れ
そうな気がする













な…
なんですって
このバカを

副社長の
秘書に転属…!?



私がそう
決めた事です

ああ…
そういえば
最近…

自分のミスを
部下に押し付ける
上司が多いと
聞きますが…



困りますよ
副社長…!!
勝手に…

きちんと人事を
通してからに
してもらわないと



まさかそんな
クズが

わが社に
いるなんて事
………
ありませんよね?



さあ

行きましょう
友永さん



ひ…



へえ…

そうだったん
ですか…



きっと
副社長は

何かお考え
なんだと
思います



私も似たような
ものですけど…

でも
私なんか

なにか
できるのかな
…



三嶋さんも
どうか

あの人に力を
貸してあげて
下さい…





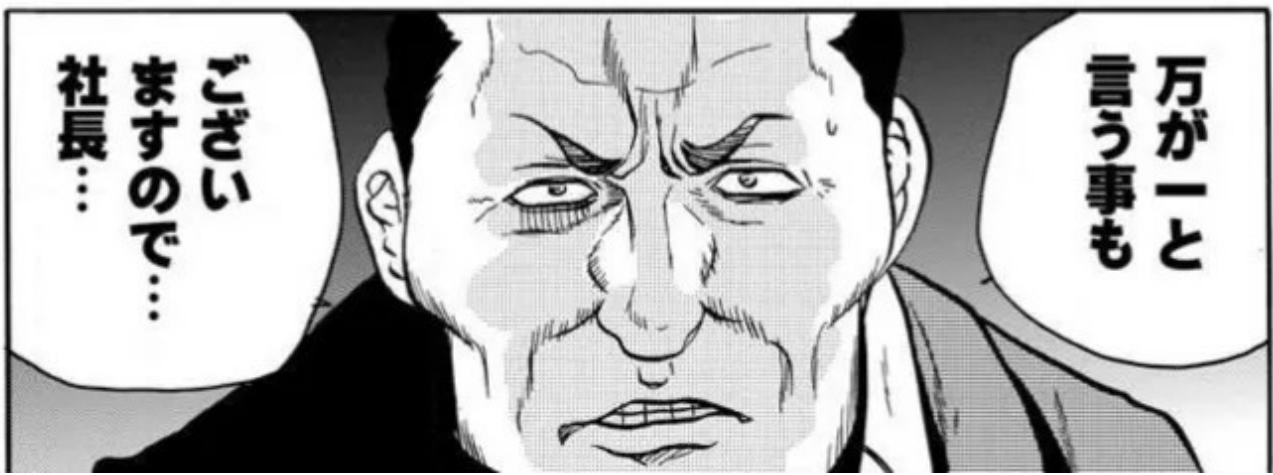




しかしあの
ゆとり共の
集団の事も
ありますし…



あまり社内の
危険分子を
放っておくのも
どうかと…



万が一と
言う事も

ござい
ますので…
社長…





ここでは
ワシが神だ!!



ワシの
樂園なのだ!!



新



誰も壊す事など
出来ん!!

そんな事は
絶対に許さん!!

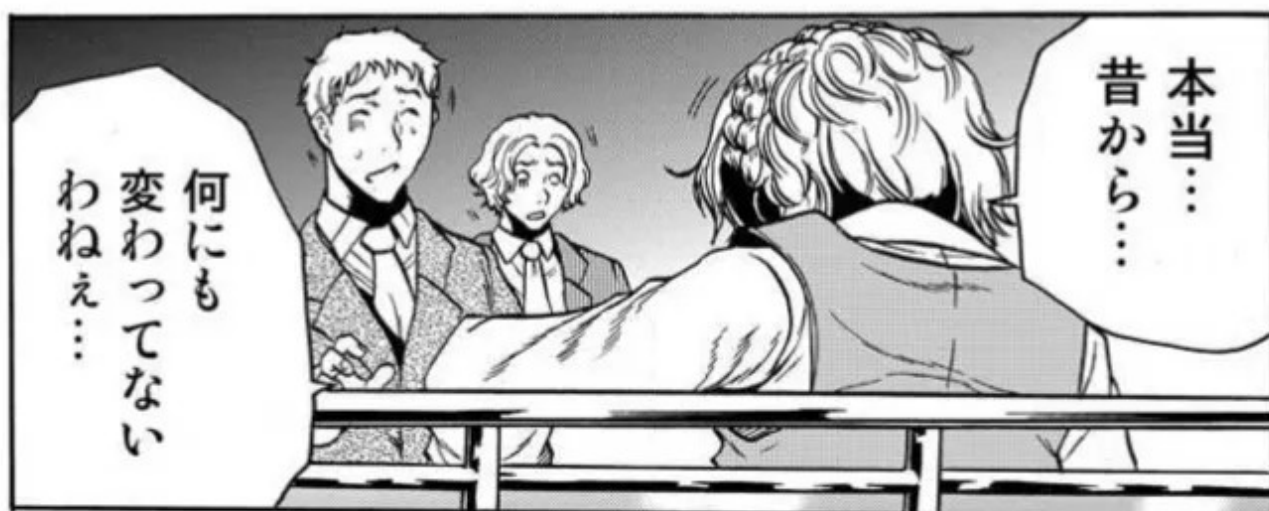






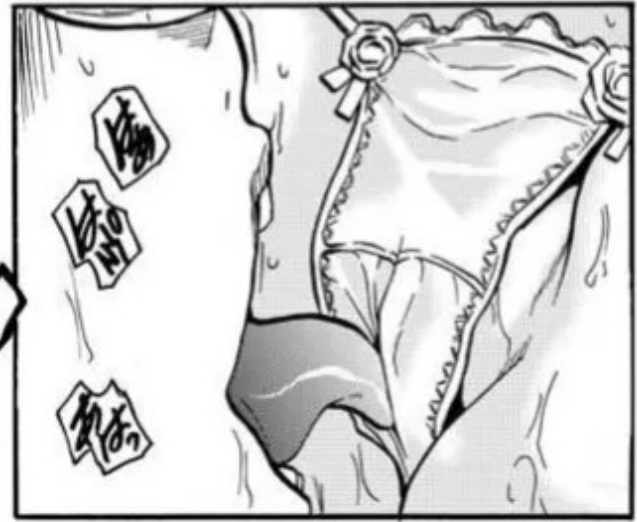


—存在価値が無い—



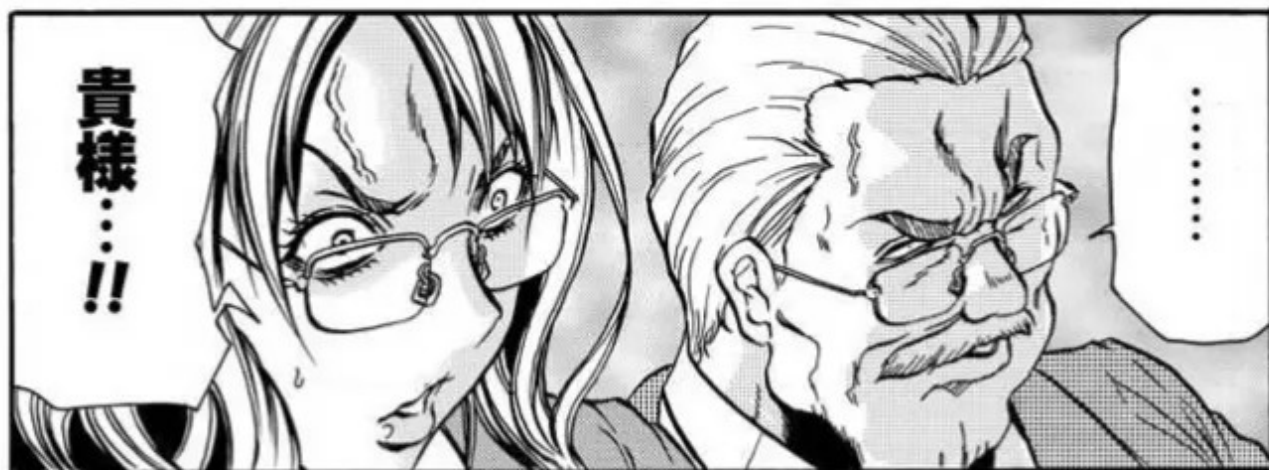




























あ

ひあああ



フハハハハ

グハハハハ!!



副社長招集
のですよ
社長:

あゝん?
そんな予定
あったか?



一体何の
案件だ:

フン!あの
ドラ息子め
:



社長

緊急幹部会
のお時間です







私達は何の力も
持ってませんし

ただ回っていれば
楽なのかも
しれません…

でも歯車が無いと
機械は動きません

一個でも欠けたら
機械は止まって
しまいます

歯車が安心して
回っていられる
環境を作るのが

社長のお仕事じゃ
ないんですか？

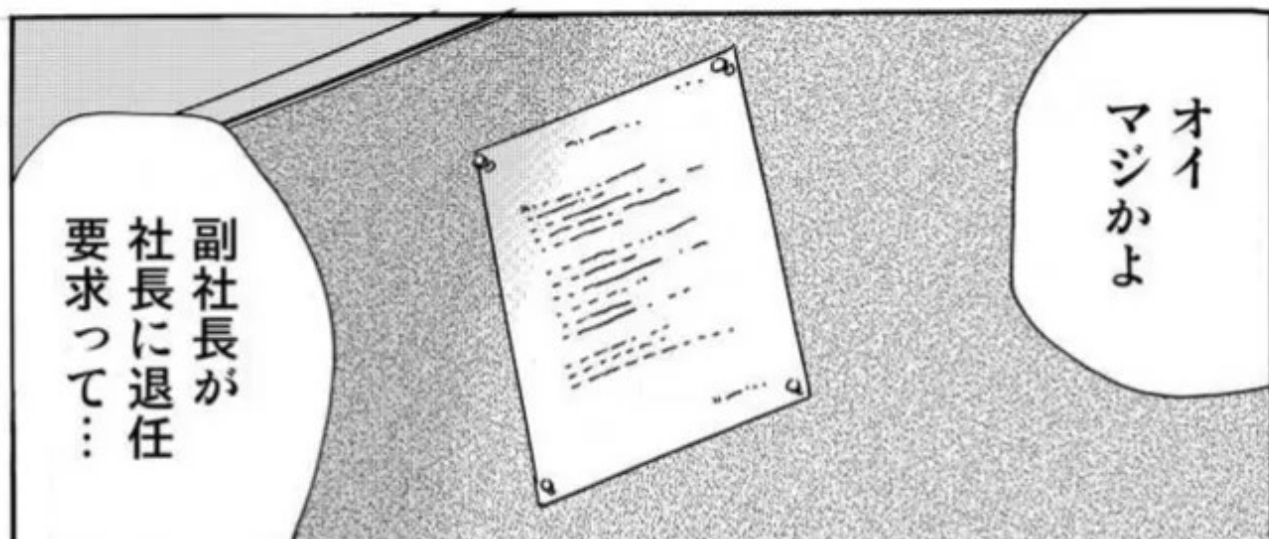
ちよつと
あなた!!

秘書の分際で
何発言してるの
黙りなさい!!

ひっ
あわわ

も…
申し訳…

かまいませんよ
三嶋さん

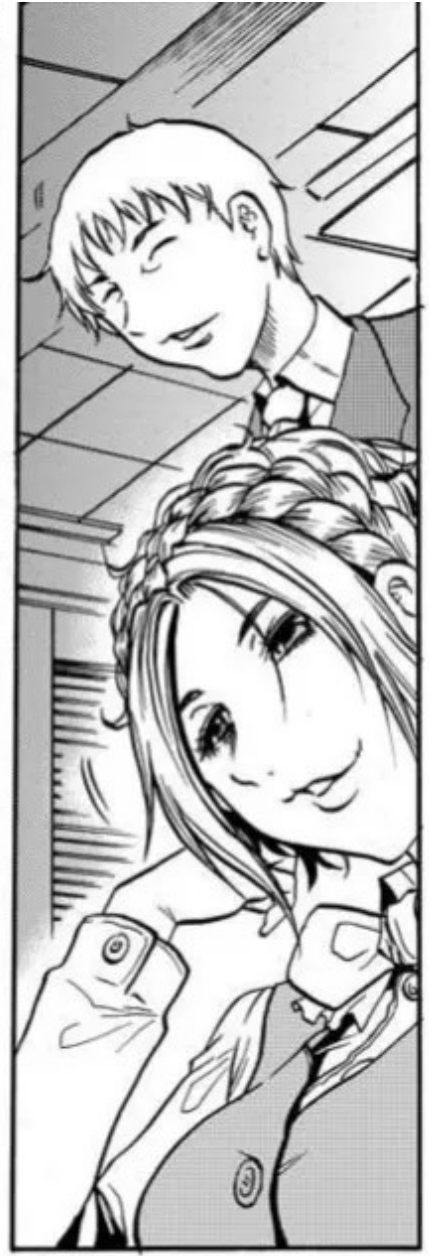


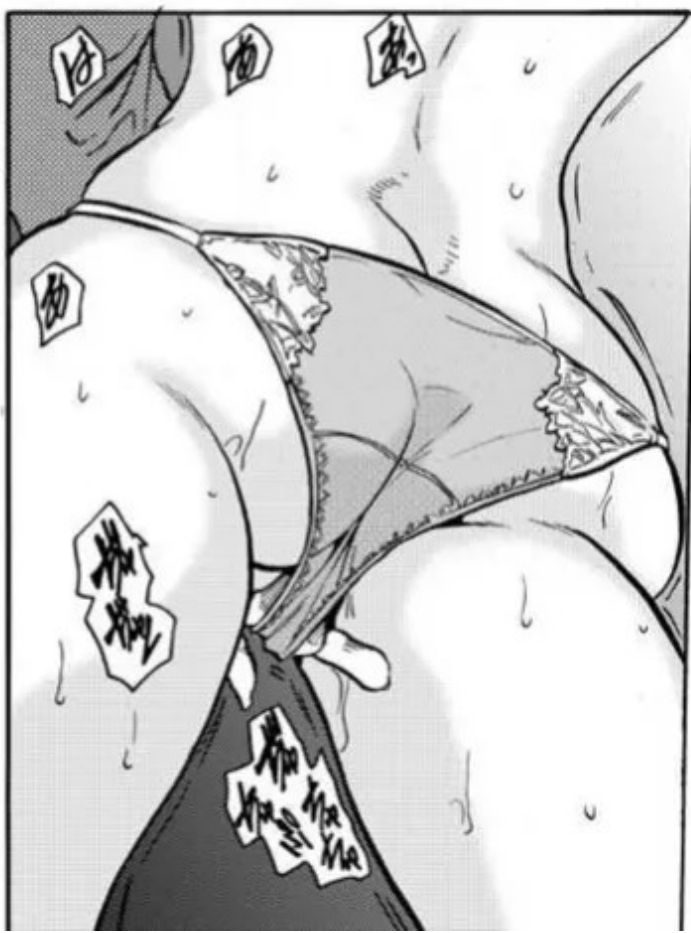


























もういいわ















ククク…
メス猫が…

随分と
手こずらせて
くれたわ…



そうやって
這いつくばって
見上げている
方が

よほど
似合って
おろうが



そもそも
貴様の様な
虫ケラが…

ワシと同じ
目線でいる事が
おかしいのだよ



グハハハ!!

お…大山…
あああ…













大山の
犬共…!!

いつか…
きっと天罰が
下るわ…

まだそんな
口を
きくか!!

やはり
仕置きが
必要じゃなあ!!

ほおれ
ほおれ!!

あぐっ
うあっあ

痛い…っ
痛い…っ!!

痛い!?
痛かったら
鳴いてみせい!!



ち…
ちが…

尻を
叩かれて…

興奮したのか？
んん？



おお!?
どうした
のかな？

汁が溢れて
きおったが…



いずれあの女は
君のモノに
なるんだが…

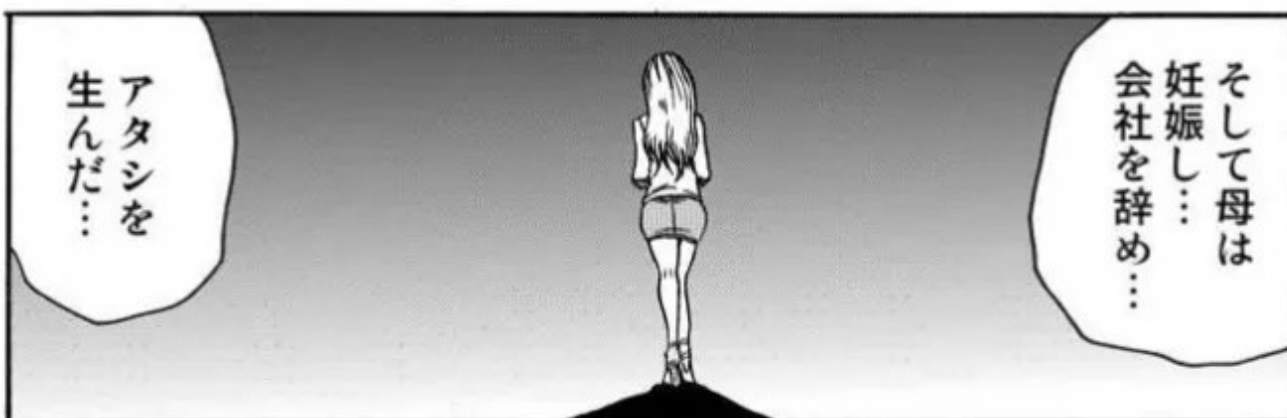
今は上司に
譲ってやり
たまえ…

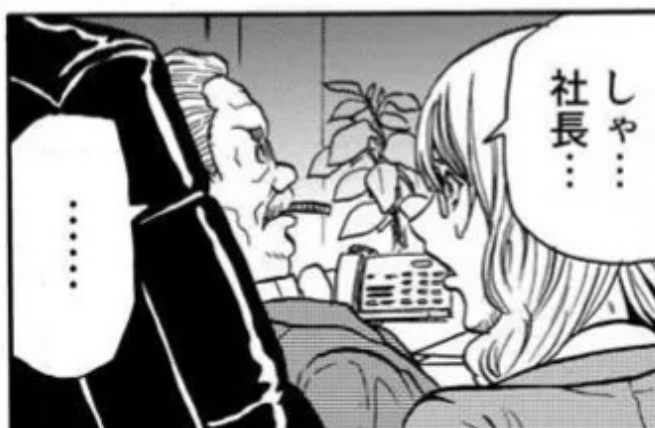
はい…
はい…



あ…
あの
社長















ガハハハ

ワシに逆らう
ものは
こうなるのだ!!

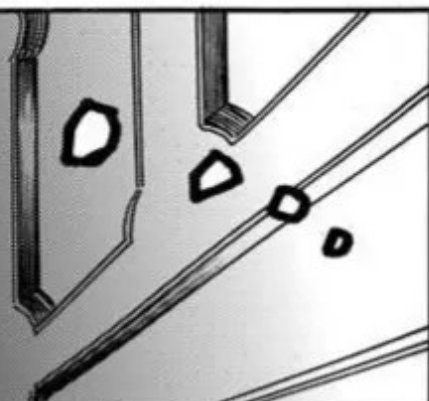
この会社は
ワシの

ワシの
ものだ!!

ここでは
ワシが

ワシが
神なのだ!!

ズ



そこまで
ですよ

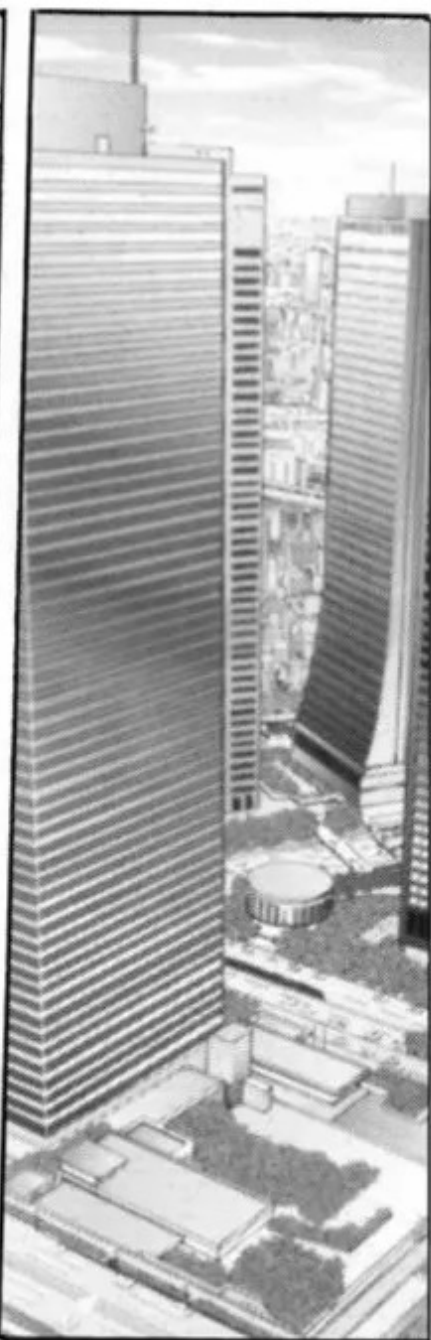
社長











ま…大山は
知らなかったし

アタシ自身
あいつの娘だなんて
思っていないけど…

そ…そを利用して
やろうと
思ったけど…

…でも…
ということは

副社長とは
兄弟だったん
ですよね…

本当…
浅はかだったわ…

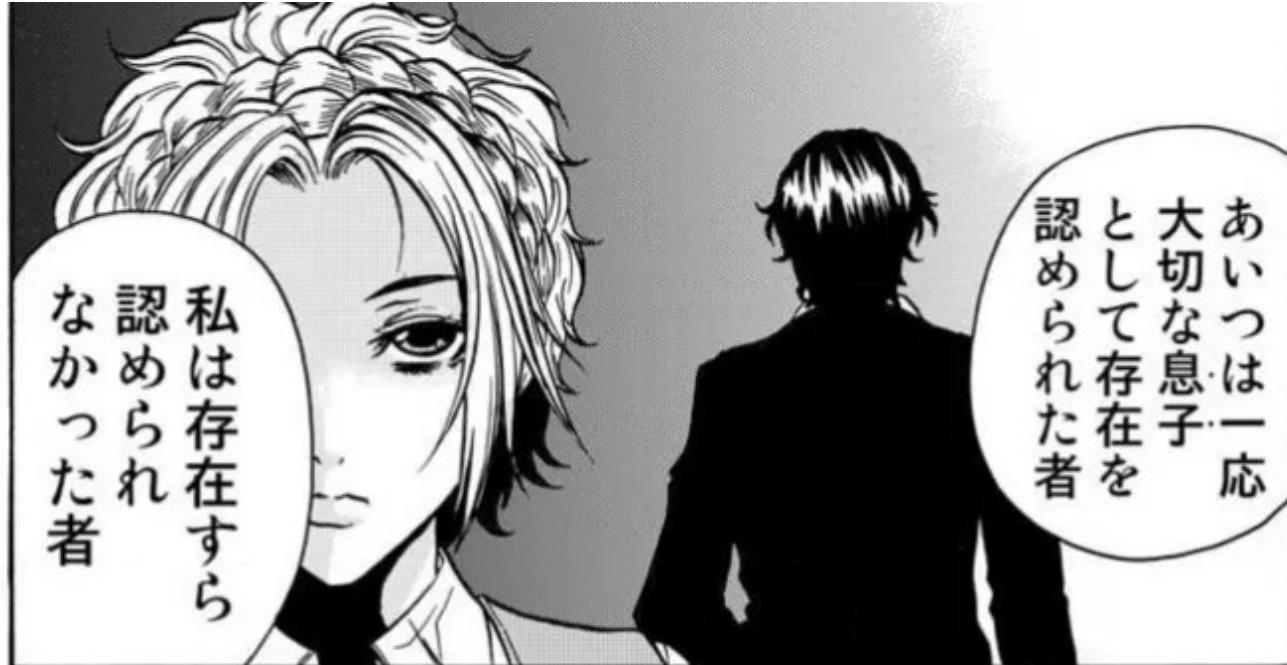
だったら
副社長と一緒に

社長を打倒
すれば
よかったんじゃないか…

ダメよ
それじゃ

あいつの手は
貸りたく
なかったのよ

なんていうか
…意地よね



あいつは一応
大切な息子
として存在を
認められた者

私は存在すら
認められ
なかった者



心愛さん…

…



あいつに
だけは…

負けられ
なかったの…



保釈された時
見に行った
けど



見る影
もなく

やせ細って
たわ…



大山社長は
どうなるんで
しょうかね…

さあねえ…
私達が決める
事じゃないわ

全てを失い
たつぷりと
天罰を受ける
事でしようね









三嶋さん…

考えなおして
くれませんか…



これから
大山商事は
大変です

失った信用を
取り戻すのに…



できれば
会社に残って…

私の側に
いてほしい
のです…



うれしいです
副社長…

でも…もう少し
待って下さい…



もうちよっと
ちゃんとした
人間に
なったら

その時…



心愛さんを
説得する事も

ただ口だけの
ダメ社員…



結局私は…

何も
できません
でした



わかり
ました…

待ってますね…



W…





This is the end of
the story.

I deleted a few
white pages and
the recurring from
chapter pages

There is nothing
missing

(株)

ブ

ラ

ッ

ス

企

業

5

presented by

断華ナオキ